

「中期経営計画2022」の進捗

「中期経営計画2022」のもと、積極投資と株主還元強化の両立を資金配分に係る基本方針としています。DX投資をはじめ新規設備投資やM&Aなど成長領域に積極的に資金を投じるとともに、連結配当性向30%を基準とする、業績に連動した機動的な配当を実施してまいります。

この資金配分計画を土台として、P6にある「成長戦略」を推進し、右図の「中期経営計画2022」数値目標の達成を目指します。



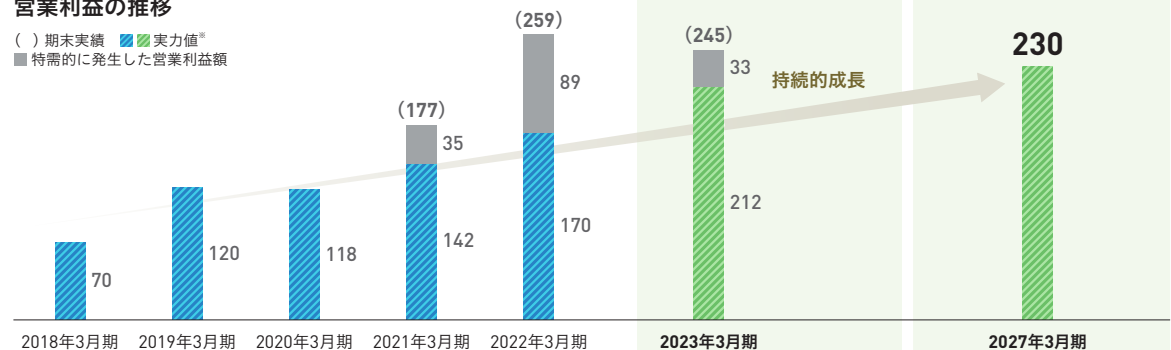
「中期経営計画2022 — 深化による攻勢 —

「中期経営計画2022」数値目標について

	中期経営計画2017(2022年3月期)		中期経営計画2022	数値目標 (2027年3月期)
	実績	実力値*		
営業収益	3,010	2,600	6%成長/年	3,500
営業利益	259	170	6%成長/年	230
営業CF	231	210	7%成長/年	300

営業利益の推移

() 期末実績 ■ 実力値* ■ 特需的に発生した営業利益額



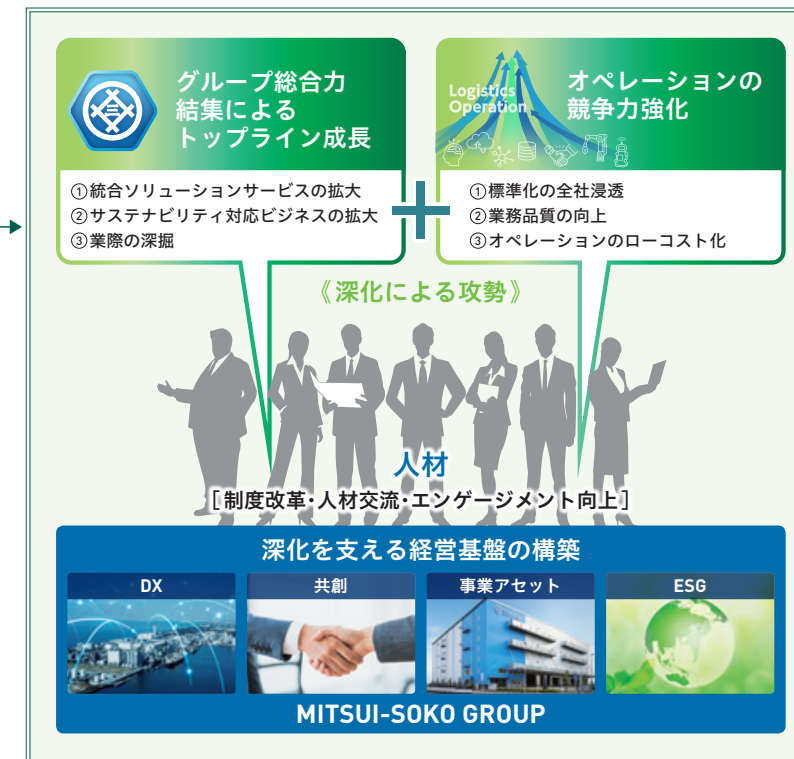
*実力値:コロナ禍以降のサプライチェーン混乱から生じた「特需的に発生した営業利益額」を除いた数値です。

「中期経営計画2022」における資金配分計画 2027年3月迄の5年累計

キャッシュアウト	株主還元 配当性向30% 200億円	+	戦略投資 DX投資・新規設備投資 (物流/不動産)・M&A等 1,000億円	+	通常投資 既存施設の維持/更新投資 300億円
キャッシュイン	営業キャッシュフロー 1,300億円			+	借入調達 200億円

Be the First-Call Company

成長戦略について



「中期経営計画2022」では、当社グループ独自のビジネスモデルで攻勢に出る成長フェーズと位置づけ、「グループ総合力結集によるトップライン成長」、「オペレーションの競争力強化」「深化を支える経営基盤の構築」の3つを成長戦略の柱として掲げております。各施策を推進することで、持続的な成長を目指してまいります。



「サステナビリティ営業部」新設

> 社会課題解決に向けたお客様の支援を強化

三井倉庫ホールディングスは、脱炭素社会の実現等の社会課題解決に向けたお客様のプロジェクト遂行を物流面から強力にサポートするため、にサステナビリティ営業部を新設しました。これまでの当社グループが培った物流ノウハウと、環境負荷低減につながる物流サービスを組み合わせる提案を行うとともに、お客様の様々なリスクや物流課題を解決してサプライチェーンの最適化を行うサービス「SustainaLink(サステナリンク)」を、今後一層推進してまいります。

SustainaLinkの詳細は特設ウェブサイトをご参照ください
<https://www.mitsui-soko.com/sustainalink/>



「三井倉庫グループ人権方針」を策定しました

> ESG経営の取り組みの一環

当社グループ、および当社グループに関わるサプライチェーンを含めた人権尊重に関する姿勢と取り組みを整理し、社会に表明するものとして、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に準拠した「三井倉庫グループ人権方針(以下、本方針)」を策定しました。本方針を基に様々な関係者と協働し、社会的使命を果たすとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

「三井倉庫グループ人権方針」の詳細は、当社Webサイトをご参照下さい
https://msh.mitsui-soko.com/sustainability/social/human_rights

